

小規模企業景気動向調査

[平成27年9月期調査]

～小売業を中心に悪化が続いた小規模企業景況～

2015年10月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2015年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…小売業を中心に悪化が続いた小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに悪化となった。項目別に見ると、売上額及び資金繰りDIは若干悪化、採算DIは不変となった。下げ幅は小さいものの、業況DIは前月に引き続き悪化となった。経営指導員からは、プレミアム付き商品券により個人消費に動きが見られるものの、全体的には厳しい状況が続いているなどの報告があった。

<製造業> ◇…明るい材料が乏しく、前月から横ばいとなった製造業…◇

製造業の業況DIは、不変となった。項目別に見ると、売上額DIは不変、採算DIは小幅改善、資金繰りDIはわずかに悪化となった。経営指導員から、好転材料として、①繊維関連で、国内回帰により受注が増加傾向にある、②一部の食品関連で、贈答品を中心に売上を伸ばしているなどの報告があった。また、悪化材料としては、①機械・金属関連や自動車関連で、中国経済の減速による影響で受注が減少している、②水産加工業で、原料の不漁により仕入価格が高騰し、採算が悪化しているなどの報告があった。

<建設業> ◇…一部地域で公共工事の増加が見られ、やや持ち直した建設業…◇

建設業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額DIは若干改善、採算DIは小幅改善、資金繰りDIは若干悪化となった。経営指導員から、好転材料として、①一部地域の土木関連で、公共工事が増えてきている、②住宅関連で、リフォームが好調で塗装・板金等は受注が増加しているなどの報告があった。また、悪化材料としては、依然として人手不足と資材価格の高止まりが続いており、採算が厳しいなどの報告があった。

<小売業> ◇…食料品関連で仕入価格の上昇が続き、大きく悪化した小売業…◇

小売業の業況DIは、小幅悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは大幅悪化、資金繰りDIは小幅悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①食料品関連で、野菜等の仕入価格が高騰しており、売上・採算とも悪化傾向であった、②プレミアム付き商品券の利用が増加したため、換金までの資金繰りに苦慮しているなどの報告があった。また、好転材料としては、一時的ではあるがプレミアム付き商品券による消費喚起効果で、客数・客単価が多少上がったなどの報告があった。

<サービス業> ◇…消費者の節約志向等で需要が伸びず、停滞が続いたサービス業…◇

サービス業の業況DIは、若干悪化となった。項目別に見ると、売上額及び資金繰りDIは不変、採算DIはわずかに悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①理美容業で、チェーン店への顧客流出や来店間隔の長期化により、売上が減少している、②一部地域の宿泊業で、大型工事終了に伴う工事関係者の利用減や他産業の不振による影響で停滞気味であるなどの報告があった。また、好転材料としては、クリーニング業で、燃料価格が低下したため、資金繰りに若干のゆとりが感じられるなどの報告があった。

| 業種 | 産業全体 | | | 製造業 | | | 建設業 | | |
|------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 8月 | 9月 | 前月比 | 8月 | 9月 | 前月比 | 8月 | 9月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 13.0 | ▲ 14.9 | ▲ 1.9 | ▲ 7.4 | ▲ 7.2 | 0.2 | ▲ 12.7 | ▲ 11.1 | 1.6 |
| 採算 | ▲ 21.5 | ▲ 21.3 | 0.2 | ▲ 21.7 | ▲ 18.4 | 3.3 | ▲ 25.0 | ▲ 20.1 | 4.9 |
| 資金繰り | ▲ 16.0 | ▲ 17.6 | ▲ 1.6 | ▲ 16.3 | ▲ 17.1 | ▲ 0.8 | ▲ 16.5 | ▲ 18.0 | ▲ 1.5 |
| 業況 | ▲ 20.9 | ▲ 21.9 | ▲ 1.0 | ▲ 19.3 | ▲ 18.9 | 0.4 | ▲ 20.4 | ▲ 17.9 | 2.5 |

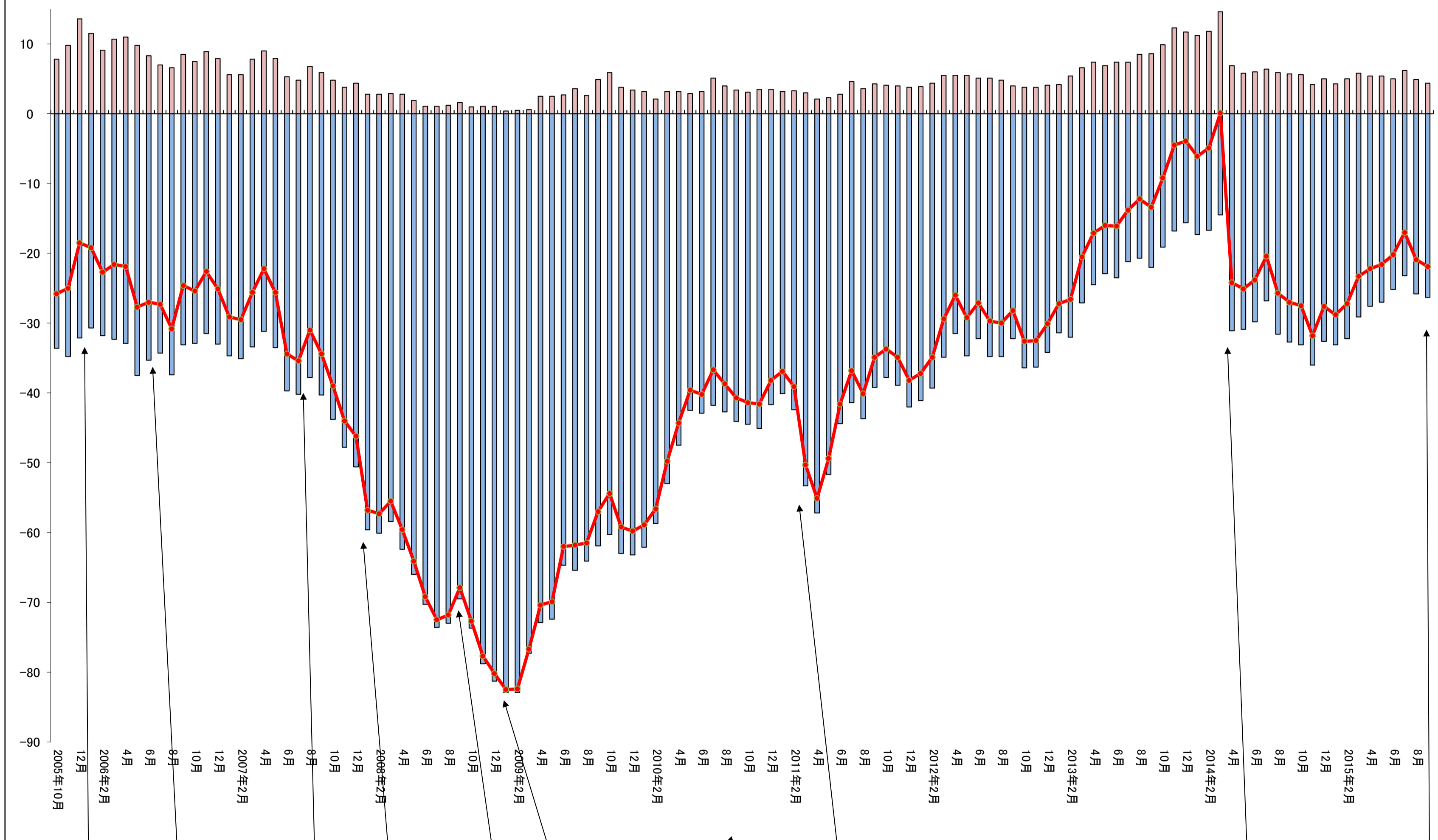
| 業種 | 小売業 | | | サービス業 | | |
|------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | 8月 | 9月 | 前月比 | 8月 | 9月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 15.8 | ▲ 25.3 | ▲ 9.5 | ▲ 15.9 | ▲ 15.8 | 0.1 |
| 採算 | ▲ 22.4 | ▲ 28.6 | ▲ 6.2 | ▲ 16.8 | ▲ 17.8 | ▲ 1.0 |
| 資金繰り | ▲ 18.8 | ▲ 22.8 | ▲ 4.0 | ▲ 12.7 | ▲ 12.5 | 0.2 |
| 業況 | ▲ 27.4 | ▲ 32.3 | ▲ 4.9 | ▲ 16.4 | ▲ 18.2 | ▲ 1.8 |

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年01月16日
ライブドア強制捜査

06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に
引上げ

15年/9月
-21.9

小規模企業景気動向調査(9月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・プレミアム商品券の影響からか、消費者の多少購買意欲の向上を感じる。
(高知県中土佐町商工会)
- ・国道の開通、シルバーウィークが有ったので、サービス業、旅館業は売上が伸びた。
(和歌山県北山村商工会)
- ・特に大きな変化ないが、飲食店は多少売上が伸びているとの声があった。
(群馬県群馬伊勢崎商工会)
- ・従業員の雇用改善(賃金アップ)も少数ではあるが見受けられる。
(埼玉県北本市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・プレミアム商品券(3割増)により個人消費に動きがあるものの全体的には景気回復の動きが感じられず低迷している。
(宮城県丸森町商工会)
- ・年度初めまでは業況の良い企業があったが、7月過ぎから先行きが不透明になったという企業が増えた印象である。
(東京都羽村市商工会)
- ・業種を問わず、厳しい状況が続いている。特に、9月は連休があったにもかかわらず、旅館業以外は好転がみられない。
(岡山県作州津山商工会)
- ・経営者の高齢化による廃業が増加している。
(長崎県松浦市福鷹商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・縫製関連製造業は、生産の国内回帰により受注が増加している。
(秋田県北秋田市商工会)
- ・繊維製造関係も仕事の依頼は順調にある。
(兵庫県丹波市商工会)
- ・食品製造業者で、ふるさと納税の返礼品製造業者は波及効果があり売上が伸びている。
(島根県石中央商工会)
- ・自動車関連は引き続き受注が好調のようである。
(愛知県小原商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・自動車関連のプラスチック成型製造業においては、前年同期と比較して受注が30%程度減少しております。これは国内はやや減少傾向ですが、中国経済が影響しているものと思われます。
(山形県南陽市商工会)
- ・コマツ関連の下請け企業は建設機械関係の海外販売が減少していることから仕事量が売り上げとも減少している。
(石川県能美市商工会)
- ・水産関連の製造業は、不漁の影響があり、売上は微減状態が続いている。
(長崎県対馬市商工会)
- ・機械部品の製造業については8月から注文がなくなったという事業所が多々あり、現在も続いている様子である。
(長野県戸倉上山田商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・土木関連の建設業は公共工事増加のため、売上は増加している。
(沖縄県本部町商工会)
- ・住宅塗装関連の建設業は個人住宅の壁の塗り替えの受注が多くなってきており売上も上がってきている。
(静岡県浜名商工会)
- ・土木関連の建設業は、地域内の防災工事等が数件あり稼働状況が良い。
(青森県市浦商工会)
- ・建築大工関連の建設業は、消費税増税の駆け込み需要の反動から減っていた受注も、緩やかに回復してきている。
(群馬県中之条町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・仕事は少し増えているようだが、材料の高騰と人手不足で苦戦している。
(東京都東大和市商工会)

・引き続き人手不足(職人)傾向がある。小規模零細は人手不足が原因で仕事を断るケースがあるとの報告もある。

(福岡県筑前町商工会)

・原材料、資材単価や運送費の上昇等の影響と技術者不足による人件費の増加でますます薄利の状況。公共工事においても件数及び金額とも減少傾向で先行き不透明である。

(富山県射水市商工会)

・公共工事の動きが見られるものの、今年度前半の受注量が少ないことにより資金繰りが懸念される。

(秋田県由利本荘市商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・プレミアム付商品券の効果により、単独スーパーでは客数、客単価が上がっており売上増になっている。

(三重県紀宝町商工会)

・プレミアム商品券効果として、金額は大きくはないものの売上の向上及び新規顧客の獲得に貢献している。(大型店と小売店の使用数制限、福祉商品券等、様々な工夫がみられた。)

(山形県上山市商工会)

・小売業全般に、プレミアム商品券の効果で売上増加はみられるが、大型店に集中する傾向がある。

(岩手県二戸市商工会)

・耐久消費財関連の小売業は、LED照明などの民間企業の設備投資により増加傾向。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

<悪化傾向を示すコメント>

・生鮮品の高騰が続き、売上・採算とも悪化傾向にあった。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・食品関連の小売業では、野菜等の価格上昇により、消費者の購入が鈍化してきている状況である。

(鳥取県米子日吉津商工会)

・地域商品券のおかげで売り上げが伸びたが、換金までの運転資金に苦慮し、好転の実感が薄い。

(愛媛県鬼北町商工会)

・食料品小売業は、メーカー側の値上げにより商品の販売価格を値上げせざるを得ず売り上げ減少や利益減少が懸念される。

(鹿児島県日置市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・クリーニング業では燃料重油の価格が安定していることから前年より資金繰りに若干のゆとりが感じられる。

(北海道新ひだか町商工会)

・旅館業、旅客業はシルバーウィークの並びが良かったため好調であった。

(島根県まつえ北商工会)

・旅館関連のサービス業は、スポーツやイベントの各種大会が開催されたため、好調な稼働が続いている。

(愛媛県西予市商工会)

・観光関連のサービス業はシルバーウィークの天候が良かったため、概ね好調だった。

(石川県富来商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・消費税の影響で、生活防衛の傾向が出ているのか、美容院で顧客の来店間隔が長期化している。

(京都府与謝野町商工会)

・他産業の影響を受け停滞気味。

(長野県佐久市望月商工会)

・理美容関連のサービス業は、料金が安いチェーン店にお客様が流れており、売上は下がる一方で非常に厳しい状況である。

(栃木県芳賀町商工会)

・道の駅に新設された施設の関係で、飲食店は比較的集客に恵まれた感あり。宿泊業は、天候不順による影響と大型工事終了による工事関係者利用減により売上の減少止まらず苦境。

(北海道小平町商工会)